

# とちの実 支援センターだより

2022年 10月発行 NO.158

前回までは、園庭が 変わりをはじめた様子を紹介しました。

今回は、その後も変わり 園庭のつき山にできた滑り台を紹介します。

## ＜すべり台が出来た＞

つき山の土質が柔らかくなってから子どもたちの滑る動きが減ったことや、お尻の汚れない滑るところが欲しいという子どもの声がありました。また、すべり台が出来ての遊びをイメージしたときに滑る動きや下からの登りが遊びの広がりを生むことが予想されたり、大人もワクワクを感じられ 楽しめる場所になるのではと考え、斜面に板張りのすべり台をつくることになりました。つき山の斜面をほぐして 土台をつくることから始まり、土のう作り・材料の寸法・カット・組み立てやすべり台の角度 滑り心地も確かめたり、防腐剤を塗ったり すき間を土のうで埋めて 板を最後に貼り、9月17日に 完成しました。

完成するまでには、部屋の中から その様子を見たり、テラスでおやつを食べて ワクワクしながら見ている子どもの姿がありました。完成すると、下から裸足で両手両足を使ったり 板の端を掴んで急な斜面を登ったり、一番上は高さがあり その気もちよさを感じたり 逆さまに滑ってみたり、背中や頭を板にベタッとつけて仰向けに滑ったり、横に並んだり 4人で縦に繋がって滑ったり 勢いよく滑るおもしろさを楽しんでいました。

## ＜支援センターを利用された方の様子＞

支援センターでは、7月頃から利用される方がだんだんと増えて 新たに出会えたことを大切に過ごしてきました。遊んだり、お話ししたり楽しむ中で 普段子どもさんと楽しんでいる事などをお話しているうちに お家でいつも遊んでいるものにプラスして お母さんが何か作ってみたいものや、支援センターでしてみたいことを 一緒に考えて楽しんでいきました。

★ お母さんが 支援センターで遊んでいる子どもさんの様子を見て、楽しそうだから同じ箱積み木を作ってみたいとなり、牛乳パックでつくってみたり…

★ 絵の具は、子育てをしている中 普段なかなか触れる機会がなく楽しんでみたいとなり、障子紙に絵の具を染み込ませて その日は乾かして帰られて、次に利用されるときに うちわ・風鈴を作ったり…

★ 支援センターで、絵の具を使ったときなど そのあと何を作りたいのかを一緒に考えたり いろいろ作っていく中で 工夫したり、お母さんから途中でアイデアが出たときにはプラスしていったり 楽しく話をしながら 作りながら変化していく面白さがあります。

★ また、そのとき一緒に過ごしたお母さんとならではの楽しみ方が出てきたりもするので 同じ材料でも違う楽しさになり、そのあと子どもさんと遊んでみたり 次は、どんなことをしてみたいかなどを話をしながら考えて 楽しんでいます。♪♪ 室内だけでなく、おさんぽにも行きます。

ぜひ、支援センターに 気軽にお問い合わせください。お待ちしております。♪♪

## ＜大きくなったかな＞

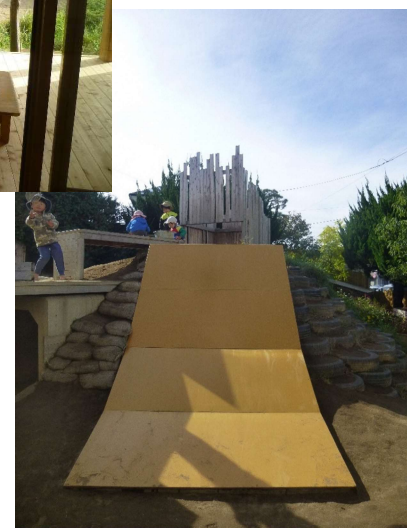
どのくらい大きくなったかな… いつでも 身長・体重の測定をしています。

身体測定カード(1年間)を準備しています。 ★ 気軽に 声をかけてください。



おやつするとき…

完成まで 楽しみにして  
見ている子どもたち。



★ 園内・園庭を実際に目で見て、触れて感じていただけたらと思います。

ぜひ、遊びにいらしてくださいね。お待ちしております。

※11月の予定については、すくすくネットをご覧ください。

## 「利用にあたってのお願い」

- 利用人数把握のため、事前に電話連絡をお願いします。
- アルコール消毒液で手指の消毒とマスクの常時着用をお願いします。
- 検温、健康チェック票の記入をお願いします。
- 他の人との身体的距離(最低でも1m)をとった行動をお願いします。
- 飲食はご遠慮ください。
- 風邪症状のある方は利用を控えて下さい。

とちの実保育園 支援センター 山形市南四番町3-11 TEL023-666-8899